

## データ解析部会の活動について

稗田 隆†

従来からデータを解析するとは、何らかの意思を持ってデータを集め、適切な解析基盤上で適切な解析手法を用いてデータを解析し、その結果から企業の利益を最大化する一連の活動を導き出すことと考えることができる。

しかし、ICTの進歩やIoT時代においては、ビックデータとして情報が自動的に収集され、ディープラーニング等を活用した機械学習により将来予測が実行される。企業は、その結果を受け入れ、利益の最大化が実現できる時代になってきた。

この時代におけるデータサイエンティストは、機械学習

に対しての少しの条件の追加と、結果の妥当性の確実な検証が要求されると考える。

本部会においては、ますます高度化、知識化するデータ解析システムが提示する多様な情報、有用な規則、ルール、知識、判断基準などをデータとして取り込み、解決すべき問題とその対策の妥当性の解析、想定外の結果に対する原因解析などを可能とするデータ解析手法を検討するものである。

データ解析結果を収集し、結果を用いて再度データ解析を行う手法を明確にすることにより新たな価値を創出する。

### 解決すべき課題

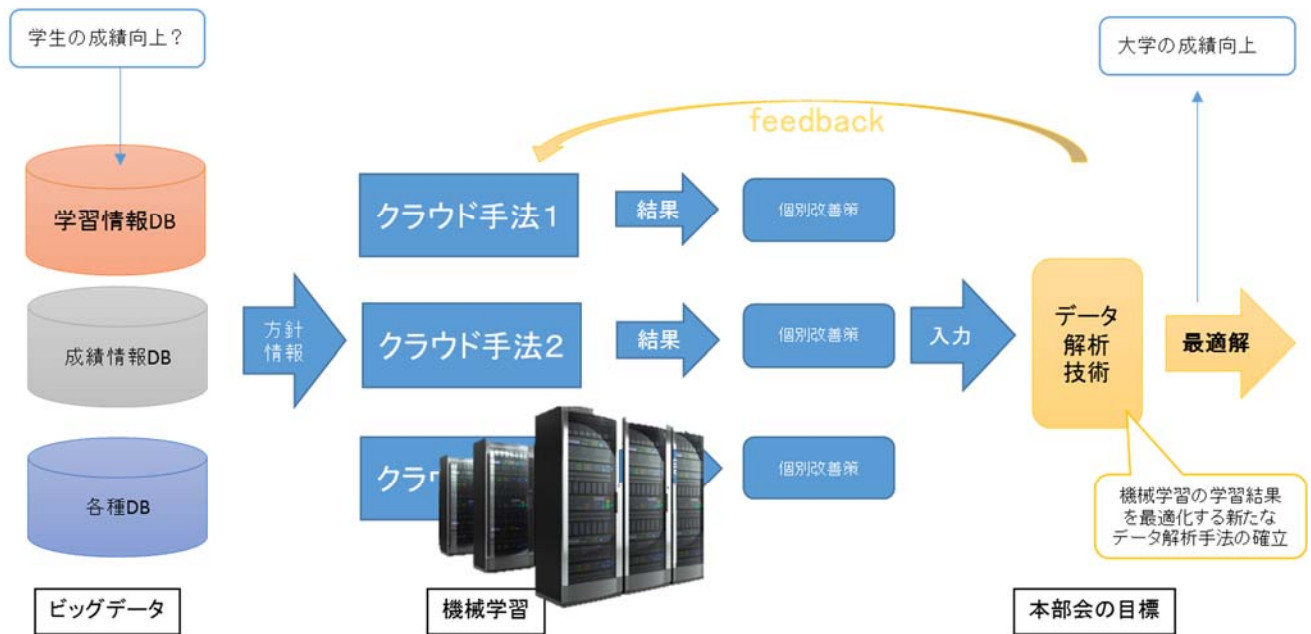


図1 本部会の目標

†1 岡山大学 (連絡先: hieda-t@okayama-u.ac.jp)